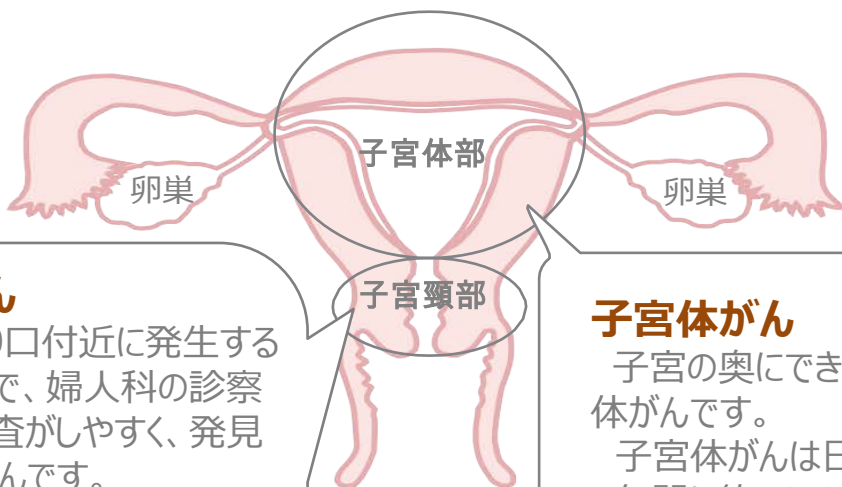


子宮がん ってどんな病気？

子宮は女性の骨盤内にある臓器です。下部の筒状の「子宮頸部(けいぶ)」と、上部の袋状の「子宮体部」に分けられます。

子宮がんは、がんの中ではかかる率の高いほうですが、死亡率は少しずつ減っています。



子宮頸がん

子宮の入り口付近に発生することが多いので、婦人科の診察で観察や検査がしやすく、発見されやすいがんです。

子宮頸がんは日本全国で1年間に約11,000人が診断されます。

20歳代後半から増加して、40歳代でピークを迎え、その後横ばいになります。

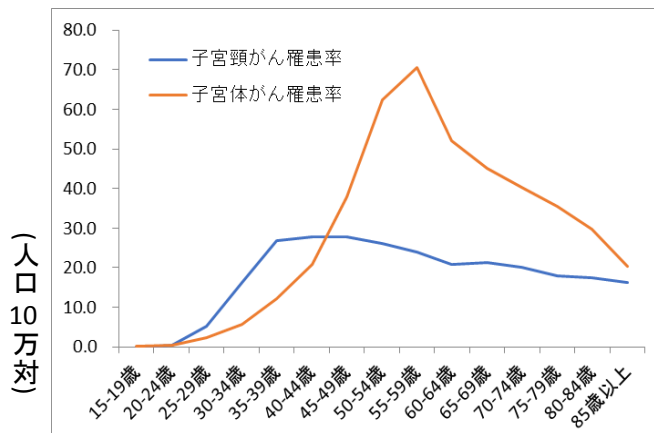
子宮体がん

子宮の奥にできるのが子宮体がんです。

子宮体がんは日本全国で1年間に約18,000人が診断されます。

閉経後の50歳から60歳代にかかる人が最も多く、近年、増加傾向にあります。

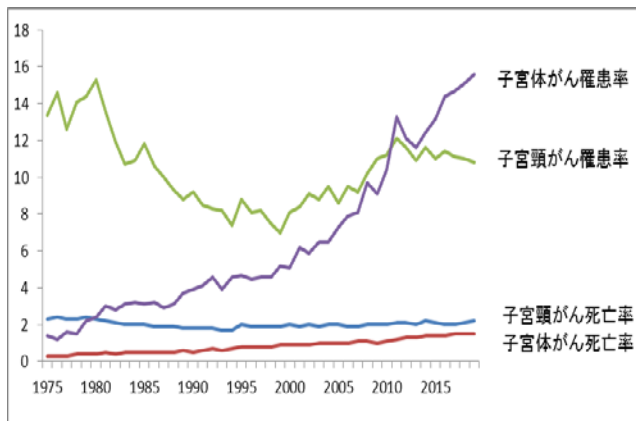
年齢階級別子宮がんの罹患率



出展：2019国立がん研究センター がん対策情報センター

子宮がんの罹患率/死亡率の推移

年齢調整率 (人口10万対)



出展：2019国立がん研究センター がん対策情報センター

子宮頸がん

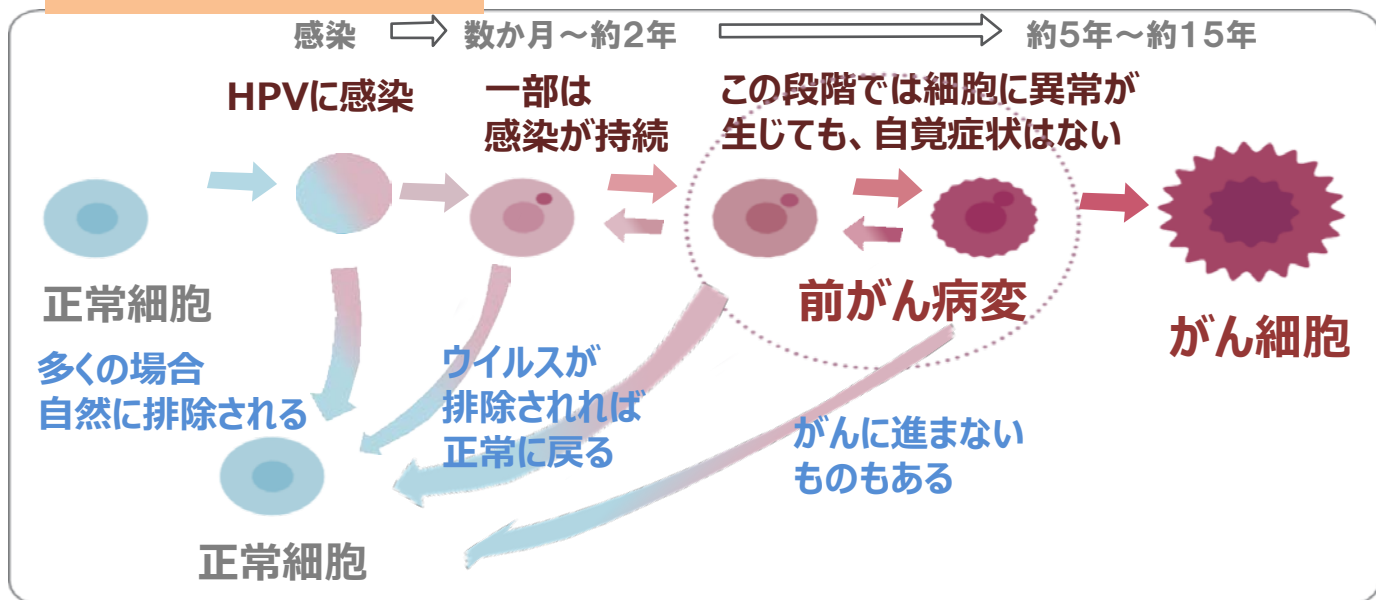
HPV(ヒト・パピローマウイルス)の感染が、発生の主要原因です

HPVってどんなもの？

HPVは人の皮膚や粘膜にいる、ありふれたウイルスです。HPVの感染自体はまれではなく、主に性行為で感染します。

多くの場合、症状のないうちにHPVが排除されてしまいます。HPVが排除されず感染が続くと、一部に子宮頸がんが発生すると考えられています。

子宮頸がんになるまで



こんな症状があったらすぐに婦人科へ！

- ☐ 月経とは無関係の出血がある
- ☐ 性交時に出血がある
- ☐ 濃い茶色や膿(うみ)のようなおりものが増える
- ☐ 水っぽいおりものや粘液が多く出る
- ☐ 月経の量が増える
- ☐ 月経が長引く

子宮頸がんの治療

子宮頸がんでは、前がん病変と呼ばれる、がんになる前の状態でも治療を行います。

治療には、手術、放射線治療、薬物療法などがあります。

妊娠の希望の有無なども考慮して治療法を選びます。

※感染をほぼ予防できるのが「**HPVワクチン**」です。性交渉前の9歳から受けることができますが、公費接種の対象となるのは小学6年から高校1年相当の女子です。令和7年3月までは、平成9年度～18年度生まれの女性も公費で受けられます。

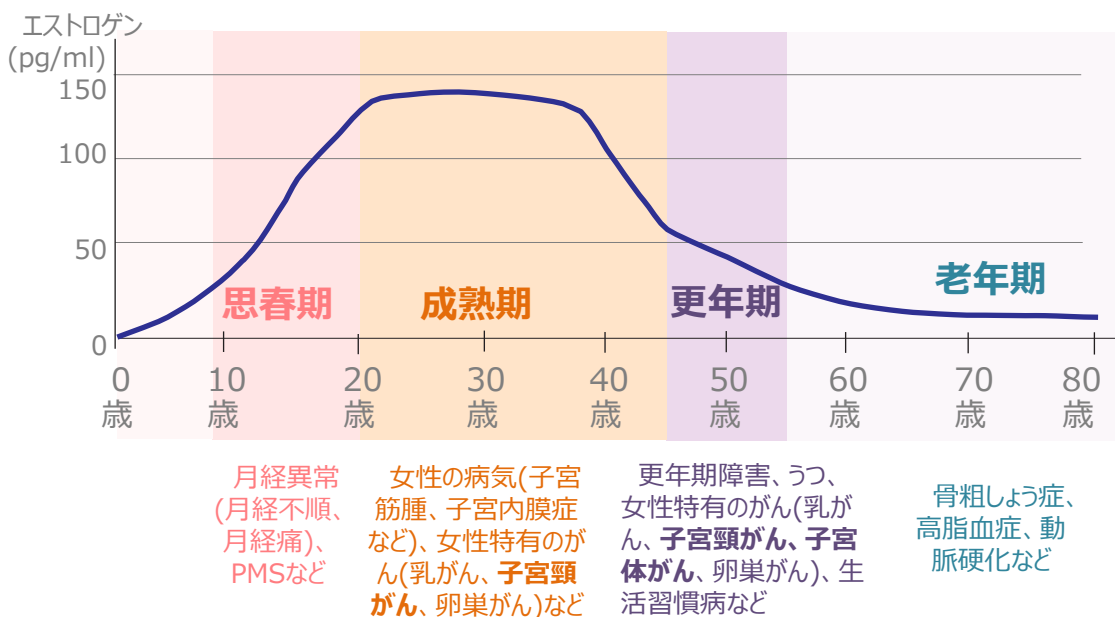
子宮体がん

女性ホルモン(エストロゲン)の刺激が深く関わっています

子宮体がんは子宮頸がんのようにウイルス感染でなく、女性ホルモンの一種である「エストロゲン」が深く関わっています。子宮の内側を覆う内膜から発生するがんで、40歳代から増加し、閉経後の50歳代の患者数が最も多くなっています。

子宮体がんについては死亡率を減らす効果が認められた検診はありませんが、子宮体がんは症状が進行していない**早期の段階**で**不正出血**を起こすことが多く、少量でも出血があれば、すぐに医療機関で検査を受けることで早期発見が可能です。

加齢によって起こる女性ホルモンの変化と女性の病気



エストロゲンは子宮がんの発生原因ですが、骨を強くしてくれたり、生活習慣病にかかりにくくしたりもしてくれます。

こんな症状があったらすぐに婦人科へ！

最も多い症状は出血です。

- ☐ 月経とは無関係の出血
- ☐ おりものの異常
- ☐ 閉経後に出血がある

他に次のような症状があらわれることがあります。

- ☐ 排尿時の痛みや排尿困難
- ☐ 性交時の痛み
- ☐ 下腹部の痛み

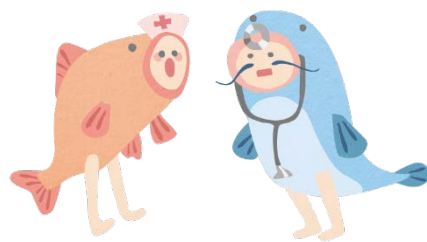
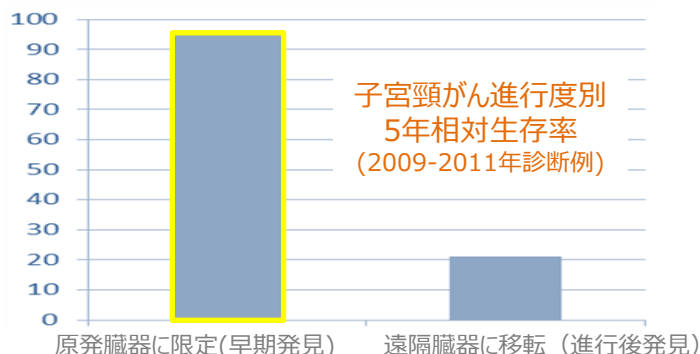
子宮体がんの治療

子宮体がんの治療では、手術により子宮と卵巣・卵管を取り除くことが基本です。

手術後の再発予防を目的として、放射線治療や薬物療法を行うことがあります。

子宮頸がん検診

子宮頸がんは一般的に非常にゆっくりと進行しますので、定期的に検診を受けることでがんになる前の段階で見つけることが可能です。



出展：国立がん研究センター
部位別5年相対生存率データより作成

子宮頸がん検診は、

20歳以上の性交経験のある女性が対象です。

2年に1回、お住まいの**市町、職場**の健康診断、**人間ドック**等で受診しましょう。

＜子宮頸がん検診の内容＞

細胞診…子宮の入口などの部分をブラシなどでこすりとり、顕微鏡で細胞を調べます。

検診の結果、精密検査が必要であれば、必ず受けてください。

職場での検診をご希望の方は、職場もしくはご加入の健康保険へお問い合わせください。
年1回の定期健康診断の際にオプションとしてがん検診を追加したり、保険者から費用の助成を受けられる場合もあります。

お住まいの**市町**でがん検診を受けることができます。問い合わせ先は下記のとおりです。

滋賀県内 市町がん検診担当課

市町名	がん検診担当課	電話番号	市町名	がん検診担当課	電話番号
大津市	健康推進課	077-528-2748	竜王町	健康推進課	0748-58-1006
草津市	健康増進課	077-561-2323	彦根市	健康推進課	0749-24-0816
守山市	すこやか生活課	077-581-0201	愛荘町	健康推進課	0749-42-4887
栗東市	健康増進課	077-554-6100	豊郷町	医療保険課	0749-35-8117
野洲市	健康推進課	077-588-1788	甲良町	保健福祉課	0749-38-3314
甲賀市	すこやか支援課	0748-69-2168	多賀町	福祉保健課	0749-48-8115
湖南市	健康政策課	0748-72-4008	長浜市	健康推進課	0749-65-7759
近江八幡市	健康推進課	0748-33-4252	米原市	健康づくり課	0749-53-5125
東近江市	東近江市保健センター	0748-23-5050	高島市	健康推進課	0740-25-8078
日野町	福祉保健課	0748-52-6574			

滋賀県がん対策推進運動実行委員会

滋賀県がん患者団体連絡協議会、一般社団法人滋賀県医師会、滋賀県がん診療連携協議会、中外製薬株式会社、アフラック生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、第一生命保険株式会社、朝日生命保険相互会社、住友生命保険相互会社、日本生命保険相互会社、大樹生命保険株式会社、明治安田生命保険相互会社、株式会社滋賀銀行、びわ湖放送株式会社、滋賀県

事務局：公益財団法人滋賀県健康づくり財団内 TEL 077-536-5210 FAX 077-536-5211 2023年11月